

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

付録 (株)東芝機械

付 .1 連続アドレスの最大デバイス数

連続アドレスの読み出し時の最大データ数を各PLCごとに示します。ブロック転送を利用される場合に、ご参照ください。



- ・以下の方法でデバイスを指定すると、デバイスの読み出しの回数が増えるため、データ通信速度が低下します。
 - ・連続アドレス最大データ数の範囲を超えている場合
 - ・アドレスを分割して指定している場合
 - ・デバイスの種類が異なる場合
- データ通信を高速に行うには、画面^{*1}単位でデバイスが連続になるようにタグのレイアウト設計を行ってください。

PLC

< PROVISOR TC200 シリーズ (TCCUH) >

デバイス	連続アドレス 最大データ数	デバイス	連続アドレス 最大データ数
入力リレー X	32ワード	エッジリレー E	32ワード
出力リレー Y		タイマ (接点) T	
内部リレー M		カウンタ (接点) C	
拡張内部リレー1 G		汎用レジスタ1	
拡張内部リレー2 H		汎用レジスタ2	
特殊補助リレー A		タイマ/カウンタ (現在値)	
ラッチリレー L		タイマ/カウンタ (現在値)	
シフトレジスタ S			

< PROVISOR TC200 シリーズ (TCCUHS/TCCUSS) >

デバイス	連続アドレス 最大データ数	デバイス	連続アドレス 最大データ数
入力リレー1 X	64ワード	シフトレジスタ S	64ワード
入力リレー2 I		エッジリレー E	
出力リレー1 Y		タイマ(接点) C	
出力リレー2 O		タイマ/カウンタ(現在値) P	
内部リレー R		タイマ/カウンタ(設定値) V	
拡張内部リレー1 G		汎用レジスタ1 D	
拡張内部リレー2 H		汎用レジスタ2 B	
拡張内部リレー3 J		汎用レジスタ3 U	
拡張内部リレー4 K		汎用レジスタ4 M	
特殊補助リレー A		汎用レジスタ5 Q	
ラッチリレー L			

付.2 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、EタグまたはKタグの間接アドレス指定時に使用します。EタグまたはKタグで指定したワードアドレスに、表示するデータのワードアドレスをコード化して格納します。(コードの格納は、PL側またはTタグ、Kタグなどで行います)

PLC

< PROVISOR TC200 シリーズ >

	デバイス	ワードアドレス	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	入力リレー	XW00 ~	8000	ワードアドレス
	出力リレー	YW00 ~	8800	ワードアドレス
	内部リレー	RW00 ~	9000	ワードアドレス
	拡張内部リレー1	GW00 ~	9200	ワードアドレス
	拡張内部リレー2	HW00 ~	9400	ワードアドレス
	特殊補助リレー	AW00 ~	B000	ワードアドレス
	ラッチリレー	LW00 ~	C000	ワードアドレス
	シフトレジスタ	SW00 ~	C200	ワードアドレス
	エッジリレー	EW00 ~	C400	ワードアドレス
	タイマ (接点)	TW00 ~	E000	ワードアドレス
	カウンタ (接点)	CW00 ~	F000	ワードアドレス
	タイマ/カウンタ (現在値)	P000 ~	6000	ワードアドレス
	タイマ/カウンタ (設定値)	V000 ~	7000	ワードアドレス
	汎用レジスタ1	D000 ~	0000	ワードアドレス
	汎用レジスタ2	B000 ~	2000	ワードアドレス
	LSエリア	LS0000 ~	4000	ワードアドレス